

令和7年度 英語科 授業改善推進プラン

台東区立駒形中学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・アルファベットの認識や be 動詞、一般動詞の使い分けに加え、基本的な文の語順（can+動詞）の理解など、英語の基礎的な知識及び技能に課題が見られる。	・英語学習に興味・関心を持ち、身近な話題に関する簡単な語句や基本的な表現を理解し、適切に使うことができる。 ・間違いを恐れず、積極的に英語でコミュニケーションを図り、異文化に触れようとする意欲を醸成する。	・英語の歌やリズム運動を取り入れ、体を使って楽しく英語に触れる機会を増やす。 ・一人ひとりの進度に合わせ、アルファベットや基本的な文の練習を丁寧に行う。その上で、間違いを恐れず積極的にコミュニケーションを図る機会を多く作る。
第2学年	・be 動詞の過去形や代名詞の目的格、一般動詞過去の疑問文など、語形・語法の知識及び理解に課題が見られる。	・日常生活や社会的な事柄に関する基本的な語句や文法事項を理解し、活用する。 ・自分の意見や経験、理由などを複数の文で具体的に伝え、他者と協力しながら英語で意思疎通を図ることができる。 ・多様な文化への理解を深めることができるようにする。	・ペア活動やグループ活動を充実させ、日常生活における対話場面での文法・語彙の活用を促す。 ・簡単な表現活動（スキット、質疑応答など）を通して、習得した知識を「使える力」へ転換させる経験を多く積ませる。
第3学年	・英文の要点を把握する力や、聞き取った内容に基づいて自身の考えを表現する力を伸長させることが最も大きな課題である。特に、理由を尋ねる際等、対話の流れに沿い英文で表現する力を伸ばすことが課題である。複雑な情報を処理し、目的を持って表現する応用力の育成が必要である。	・社会的な事柄や国際的な話題について、多様な語彙や複雑な文法構造を理解し、的確に自己の考えを表現できる。 ・論理的に考えを組み立て、英語で発表や提案ができる。 ・生涯にわたる英語学習の重要性を認識し、自律的に学び続ける力を養う。	・リスニング後の意見交換やライティング活動の反復指導を通し、要点把握と論理的な表現力を強化する。 ・発表やディバートの機会を拡充し、目的意識を持った言語運用能力を育成する。 ・個別指導や I C T 機器の活用で深い学びを支援する。

